

◆講演で、ふるさと納税が地域経営において、強力なマーケティングツールであり資金調達資金です。持続可能な地域造りに使われていることを学びました。豊富な事例と分かりやすい説明で、わたしでもよく理解できました。北海道上士幌町の「ふるさと納税で子育てしやすい住みやすい町づくり」に使われている、との事例には、こんなことできるんだ・・・知らなかったです。ほんとに勉強になりました。

◆事例発表では、小野さんの事例「選ばれる返礼品への挑戦」は、発想・実行力に脱帽。とても郷土愛を感じました。湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部も「笑湖(えこ)活動実績」—水源地域支援ネットワーク会議で学んだことの実践事例—について発表させていただきました。

◆会議の様子



◆湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部も事例発表させていただきました。

笑湖(えこ)活動実績
 水源地域支援ネットワーク会議で学んだことの実践事例
 滋賀県高島市
 湖西夢ふるさとワイワイ倶楽部 1

笑湖活動の実績について考察
 -水源地域支援ネットワーク会議で、学んだことの実践事例

実践 1. 高島ファンが育て、スタッフとして活動
 実践 2. 自然・歴史 ハイキング・トレッキング
 2-①環境保全活動・ガイド業務を他団体と連携事例
 2-②観光コースを新しく開拓事例
 実践 3. 新しく挑戦したこと
 3-①シイタケの菌打体験
 3-②さつまいもの苗植えから収穫体験
 3-③ガイドマニュアル作成に、「プレスリリース」と「見える化」を実践。

実践 3. 新しく挑戦したこと 3-①シイタケの菌打体験
 ①原木を伐りに山へ行く(地まさんのご協力:15年以上の協力者)2021.11.15

「松を植えるより、ひばを植えるのが良い」と地まさんがおっしゃる中、シイタケの菌打体験も楽しんでいます。地まさんの御幸さん！と声をかけ、いよいよ菌打体験が始まりました。地まさんのおっしゃる通り、シイタケの菌打体験も楽しんでいます。地まさんのおっしゃる通り、シイタケの菌打体験も楽しんでいます。

考察
 私たちは、高島市のいろんな所で環境保全活動をしています。ゴミの山を宝に変身しています。新竹取物語では、自然再生について学ぶ場となり、価値が向上しています。ウォーキング・トレッキングでは、健康増進(風邪をひかなくなった)やリハビリに効果が出ています。私たちの活動で、人は元気になり、ゴミの山は、自然の宝庫、歴史の宝庫に変身しています。活動を継続すれば、自然が循環し、人の心が癒し、もちろんお金も循環します。人と自然、人と歴史の積極的なかわりにより、生まれる感動の連鎖を次の世代に繋ぎたく思います。そうすれば、高島市の自然の宝庫、歴史の宝庫は、ずっと未来まで残すことができると思います。

◆山梨県北杜市



◆福岡県東峰村東峰村ツーリズム協会 ふるさと納税選ばれる返礼品への挑戦

当協会のふるさと納税返礼品
 2021年度収入額 3,457,800円(前年比22%増)
 (ふるさと納税総額:11,528,000円)
 返礼品登録数 36品目(小石原焼19品、木工品10品、山椒のスパーン、いちようまな橋)
 人気返礼品 小石原焼七寸皿、スープカップ、山椒のスパーン、いちようまな橋
 登録返礼品 小石原焼コーヒードリッパー(5品)

返礼品に選ばれるために

1. 実用的で美しい作品を厳選する。
2. 作品のデザインや組み合わせを考える
3. 作品の魅力が伝わる写真を掲載する。
4. 作品の魅力が伝わる説明文を書く。
5. 作品専用のしおりを同梱する。
6. 安全で質の高い梱包と包装をする。
7. 選ばれる決め手はレビュー。

当協会が登録する返礼品の基準

1. 3,000円以上の作品しか登録しない
2. 丁寧な手仕事で作られた作品。
3. 小石原焼は伝統技法の作品限定。
4. 自身が納得できる作品を厳選。
5. 作家のものがたりが語れる作品。
6. 類似品と比べて選ばれる理由がある。
7. 作っている人が好き。